

第2回 ROBO-ONE Special in 花やしき

大会レポート あずさ 梓みきお

2004年11月6～7日の日程で、「第2回ROBO-ONE Special in 花やしき」が開催された。タイトルの通り、今回の会場は東京・浅草の遊園地「花やしき」内特設ステージ。2日間にわたって行われた、二足歩行ロボットたちの“大運動会”をレポートしよう。

ROBO-ONE Specialとは？

本誌の読者であれば、二足歩行ロボット格闘大会【ROBO-ONE】が、毎年2回開催されていることはご存知だろう。そのROBO-ONEの出場規格を満たしているロボットたちが、格闘ではなく「階段」や「ダッシュ」「ボール投げ」などの“運動”で競い合うイベントがこの【ROBO-ONE Special】である。いわばロボット版の“スポーツマンNo.1決定戦”といったところ。

第2回となる今回は、会場が東京・浅草の遊園地「花やしき」となり、屋外に設置されたステージを利用したイベントとなった。およそ3年を数える【ROBO-ONE】の歴史全体を通して初の「屋外」、しかも遊園地での開催ということで、これまでとはまた違った雰囲気の中で、盛り上がりを見せた大会となった(写真1)。



写真1

ROBO-ONE 戦士のデモ!

初日、土曜日のオープニングは「【ROBO-ONE】ってこんなイベントです」と、花やしきのお客さんに知ってもらう、ちょっとした広報ステージ。当日の朝早くにNHKで生中継があったためか、それを見て駆けつけてくれた、初めて【ROBO-ONE】を見るお客さんも多かったようだ。

5体のKHR-1によるダンス(?)のあと、多くのROBO-ONE戦士の中から選ばれた「Buster-Lilac」「R-Blue7」「MAGI」「Y・G・不



写真2

知火」「DYNAMIZER2」の5体がデモンストラーションを披露し、エキシビジョン・トーナメントを開催。ランブルも行われ、どちらも「DYNAMIZER2」が勝利を収めて喝采を浴びた(写真2)。

ROBO-ONE Stairs

30mmの段差が昇り/下りそれぞれ5つある階段を、2分の制限時間内で踏破し、タイムを競う「ROBO-ONE Stairs」(写真3)。この競技は第2回ROBO-ONEの会場ですすでに行われており、Specialで実施される中で最も歴史が長い競技でもある。



写真3

出場8機のうち、クリアが2機。最初のクリアは「マジンガア(こうじ)」だった。マスタースレープで動く機体で会場を一気に盛り上げたあと、腕をいっぱい伸ばした安定性の高い歩行を披露。タイムは1分48秒28でのクリアとなった。前回の記録は3段なので、見事なリベンジとなった(写真4)。



写真4

2機めは最後に挑戦した「Y・G・不知火(Dr.GIY)」。前回のStairs覇者でもあり、会場もクリアを期待した空気。それに答えるように、階段一段につき片足ずつで上っ



写真5

ていく“人間らしい”足運びを見せ、クリアしたタイムは54秒40!! 前回は1分13秒15でのクリアだったので、20秒弱短縮した(写真5)。現在ではROBO-



ONE本戦の予選規定演技に「本の上り下り」が入っているうえ、ジャイロを搭載するロボットなどが続々と登場しているだけに、どのロボットも軽々とクリアするのかもしれないと思いきや、意外に苦労したロボットも多かった。昇りではマジンガアより速かった「(湯本修三)」も、大会常連の「ARIUS 2X(スミイファミリー)」も、下りで転倒、再スタートを余儀なくされることになった。やはり段差はロボットにとって高いハードルなのだということが、あらためて提示された結果となった。



下り2段目で無念の時間切れとなった「DYNAMIZER2(スギウラファミリー)」。設計製作が父(左)、操縦は息子(右)である。



頂上まではマジンガアより5秒速かった。次回に期待したい機体だ。



前日に続き、今回も鬼門の下りで失敗してしまったARIUS 2X。人間らしい足運びは会場の喝采を浴びていた。



ROBO-ONE Stairs 競技結果

- 1位 Y・G・不知火 54秒40(100pt)
 - 2位 マジンガア 1分48秒28(80pt)
- 出場ロボット8機